

「九電みらい財団」の平成30年度

助成金目録贈呈式に行ってきました

平成30年4月20日（金）10時から九州電力設立の一般財団法人「九電みらい財団」（福岡市）の平成30年度の助成団体への目録贈呈式に参加してきました。九電みらい財団は、九州の未来を担う子どもたちの健やかな成長を応援するため、NPOなどの諸団体が取り組む次世代育成支援活動への助成事業を実施されています。当日は九電福岡支社でおこなわれ、財団統括マネージャー 金丸和宏氏 福岡支社長 豊島誠氏 副支社長 山中尚美氏などが参加され、「ぼちぼちの会」を始め福岡市の3団体に助成金を贈る目録贈呈式でした。

- ① 地域に開かれた日常的な子どもの遊び場「きんしゃいきゃんぱす」
商店街の一店舗を借り、日常的な遊び場を地域に開放することで、年代を問わず、幅広い子どもたちにとっての居場所づくりを行う。
- ② はるかぜ手伝い隊 「はるかぜこども食堂」
子ども食堂を運営し、地域ぐるみで多世代交流や学習支援を実施することで、子どもたちが安心して過ごせる居場所づくりを行う。
- ③ 不登校生の支援活動をしている不登校生の保護者の会「[ぼちぼちの会](#)」
不登校生の保護者会として、学習会・情報交換などの活動を通して、親と子どもの両方の側面から課題を解決し、不登校状態の解消・改善を図る。

詳細は「九電みらい財団」のHP

<http://www.kyuden-mirai.or.jp/support/2018/result.html>

平成30年度の助成団体は、本年度は、1 昨年の67件、昨年103件を大きく上回る130団体の応募があり、福岡市地区では本会を含んで3団体。九州全体で22団体が助成の対象になりました。本会ではご支援いただきます助成金を平成30年11月予定の親子レクレーションの費用に使わせていただきます。

